

議会事業評価シート

主要事業名	学校生活支援事業
方向性・提案	拡充
これまでの事業に対する 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数による配置基準に基づき生活支援員等の配置は適切にされ、児童生徒の学校での生活の支援ができ評価できる。 ・支援員等の研修や情報交換がコロナ感染症の影響により2年間未実施である。技能格差の解消や向上のための改善が必要である。 ・学校の学習支援はもとより、多動傾向、日本語を十分理解できない等、特別な支援を必要とする児童生徒への対応が不十分であると感じる。
今後の取組み方と提言	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員の研修や情報交換については、感染予防対策をとる、または、オンラインなど工夫して行うなど、継続的、定期的、かつレベルアップ研修の実施がされるよう改善を求めます。 ・支援員の人員配置は、配置基準を参考とするが、配置基準では支えきれない特別な支援が必要とする学校の事情も勘案し、支援員の増員や配置時間の再検討を求めます。 ・現場からの要望で配置基準を超えて特別な支援を必要とする場合には、半田市教育支援委員会に意見を求め支援員の増員配置を行うこと。また、それにより支援員等の増員が必要な場合には、予算の増額を求めます。